

五年九月ノ條ニ泰衡將奔蝦夷乃赴糠部郡トアルヲ以テ知ルベシ、其後四百有餘年、渡島ノ内松前ト稱スル地、始テ亦中土トナル、國史略ニ云、天正十六年、蠣崎慶廣修使幣請内附、秀吉使慶廣比内大名慶廣以松前自氏焉、至此松前始入版圖ト以テ知ベキナリ、彼是コノ國ハ東方十二道ノ内ノ大國ニシテ、ヤガテ皇大御國ニ於テモ、第一ノ大國ナリト知ラレタリ、

〔新撰陸奥風土記^二〕封疆番所陸奥隣國の疆域、古は闢有しか共、今は一もなし、唯其領主の諸大名より番所を置のみなり、

一字多郡駒ヶ峯 仙臺相馬の境番所

一伊具郡大内村の内簇卷 同

一同丸森村の内峙宿 仙臺伊達の境染川村

一刈田郡越河村の内石大佛 同藤田村

一同小原村の内上戸津宿小坂峙 同

一同湯原村^{アリトアハセ} 跟合澤 仙臺米澤與羽境羽州檜下村

一同湯原村猿鼻 仙臺領出羽の境

一柴田郡今宿村の内笠谷 同羽州關根村

一名取郡馬場村二口清水土峙 同羽州延澤領山寺村

一同羽の内二口二本口口 同

一宮城郡作並村の内坂元土峙 同羽州關山村延澤領也

一賀美郡小野田本郷の内輕井澤西前坂 同延澤領羽州上畑へ出

一同宮崎村の内切籠田以西峙 同

一玉造郡鳴子村の内中山宿關澤 同羽州小國領、小田へ出